



ストーブ火災に気をつけましょう

季節が冬に近づくにつれて、ストーブを使用することが多くなりました。

ストーブによる火災は、日本の火災原因でも毎年上位に上がります。ストーブ火災の原因の多くは、就寝中に寝返りなどで布団がずれて、布団とストーブが接触して発生するものです。さらに、寝室には衣類や燃えやすいものが多く、一気に燃え広がってしまいます。就寝中で発見するのも火災に至ってからが多く、手遅れになることも少なくありません。

ストーブと寝床の距離は近くないですか。電気ストーブだからと安心していませんか。電気ストーブでも赤熱部は高温になり、布などは発火してしまいます。寝る前には電源を必ず切る、オフタイマーにする、寝床や燃えやすいものからストーブの距離をなるべく離すなど、火災に至らないよう注意をお願いいたします。

冬は火災が多くなる季節です。村の厳しい冬を安全に過ごすためにも、暖房器具の使用方法には十分注意しましょう。



救急出場状況（9月分）

一般負傷	2件	(2人)
急病	9件	(8人)

9月計	11件	(10人)
累計	188件	(172人)
※ () 内は搬送人員		

富良野広域連合 富良野消防署占冠支署 ☎56-2119

地域とともに

コミュニティ・スクール情報⑧

～トママ学校編～

コミュニティ・スクールとしての教育活動を支える組織として、学校運営協議会があります。

学校運営協議会とは、「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教育法第47条の6）に基づき、学校と保護者や地域の人々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える仕組みです。

トママ学校では年3回、学校運営協議会が開かれます。第1回目は6月27日に行われました。参加者は学校から3名、関係行政機関から2名、地域住民から3名、保護者から1名、学識経験者1名です。

そこで話し合われた内容は、以下のとおりです。

- 運動会について
 - ・お父さんとお母さんが一緒に行える種目があったらおもしろい。
 - ・子どもたちの満足そうな顔が見られた。
- 集合学習について
 - ・子どもが集合学習の中でどのように他校の子と関わっているのか見たい。
 - ・子ども同士との交流学習はあるが、保護者同士の交流は少ない。
- 情報発信について
 - ・もっと情報を発信して、人口が増えるようにしたい。
 - ・村のホームページと学校フェイスブックとをリンクできるようにするとよい。



最後には学識経験者の北翔大学の谷川先生から「学校だけでは子どもは育たない。学校・家庭・地域が教育に対して声を出すことによって学校は良くなる。そのことに占冠村はいち早く気付いた。」というお言葉をいただきました。

これらの話し合いを基にそれぞれの立場でできることを確認し、「よりよい学校づくり」「よりよい連携」を目指して、教育活動に生かしていきます。

占冠村の「村全体で教育を支えよう」とする取組は他市町村からも高く評価されています。少子化が進む中、学校教育の在り方が変わってきています。これからも三者が連携し合い協働しながら、未来の占冠村を支える子供たちの育成に努めていきたいと考えています。

☎ 占冠村教育委員会 TEL 56-2182